

プラセンタ注射（メルスモン）同意書

メルスモンは 1956 年に承認された医療用医薬品です。国内の、安全なヒト胎盤（プラセンタ）を原料とした注射薬で、多種のアミノ酸を含有しています。自律神経やホルモンのバランスを調整し免疫力や抵抗力を高める効果があります。投与に同意される方は、以下の説明を充分にご理解いただいたうえでご署名ください。なお、当院での施術は 20 歳以上の患者さまに限らせていただきます。また、悪性腫瘍（癌）を治療中の方・過去に治療経験がある方への施術も控えております。何卒 ご了承ください。

◆メルスモンの主な効果

次のような病気や症状の改善に使われます。

更年期障害による諸症状（のぼせ・冷え・不眠・イライラ感・頭痛・疲労・肩こり・腰痛など）の改善、また、産後の乳汁 分泌不全の方

◆副作用

主な副作用は、注射部位の疼痛・発赤・青あざ、硬結等、悪寒、発熱、発疹等が起こることがあります。

※重大な副作用：ショック、急性肝障害（60 年間で数例の報告のみ）

注射部位や体調に異変がありましたら、必ず申し出てください。

また、肝機能障害が疑われる際は速やかに医師にご相談ください。

◆ウイルスや細菌などに対する安全性

胎盤 1 つずつについてウイルス検査を実施し、B 型肝炎・C 型肝炎・エイズのウイルス検査で陰性であることが確認された安全な胎盤を原料としています。さらに製造の最終段階に 121℃・30 分間の高圧蒸気滅菌を実施しており、病原体の感染防止策をとっております。これまで、本剤によるウイルス感染の報告はありません。

◆変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）に対する安全性

1980 年代～2004 年頃まで英国を中心に狂牛病が流行し、関連すると思われる vCJD の発症報告がありました。メルスモンは、この狂牛病が流行した時期に、それらの地域に滞在歴がある方の胎盤は原料としておりません。さらに製造工程で高熱処理を実施しているため、タンパク質は分解されています。

◆注意事項

メルスモンはこれまで感染の報告はありません。しかし、理論的な vCJD 等の感染の危険性は完全には否定できないため、メルスモンを含めたヒト由来製剤の使用者は献血できません。また臓器提供についても、移植希望者が移植医から適切な説明を受けた上で、提供を受ける意思を明らかにしている場合を除いて、原則控えることが求められております。 婦人科系疾患の治療を受ける場合は、先方の医療機関に当院でメルスモン注射を受けている旨を必ずお伝えください。また、婦人科系疾患の診断を受けた場合、他院でプラセンタ注射を受ける場合も必ず当院へお申し出ください。婦人科系疾患の患者さまに関しては医師の判断に基づき施術の可否を決めておりますので、上記内容に関し患者さまからお申し出なき場合のトラブルには一切の責任を負いかねます。私は、上記の記載内容について充分に理解し、メルスモンを投与することに同意いたします。

私は、上記の記載内容について充分に理解し、メルスモンを投与することに同意いたします。令和 年 月 日

患者氏名